

「日本土壤肥料学会 2022 年度関東支部大会」の高校生による研究発表会に出展しました。  
農業科3年野菜専攻「銚田地域のメロン栽培 ～メロンのつる割れ病と接ぎ木苗の導入～」

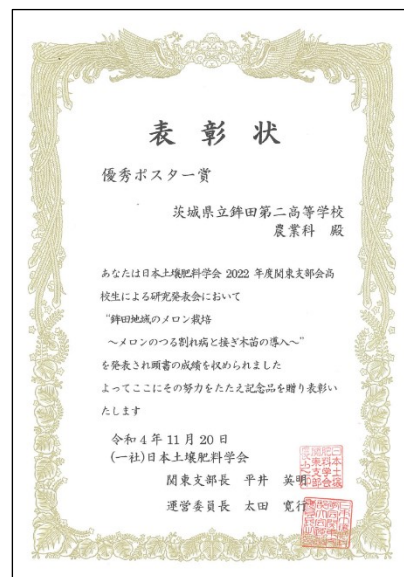
11月20日（日）に、ザ・ヒロサワシティ会館小ホールで開催された「日本土壤肥料学会関東支部大会・2022年度茨城大会」の高校生による研究発表会の部に、農業科の研究を出展しました。

茨城大会には、日本土壤肥料学会の関東支部の約100名の研究者などが参加。口頭発表、記念講演、ポスター発表が行われ、多くの研究者が情報交換されていました。

高校生による研究発表会には、5校6研究（茨城県3校4研究、神奈川県1校1研究、山梨県1校1研究）が出展。茨城県は、銚田二高の他、土浦日大高、水戸農高（2研究）が参加しました。

銚田二高は、農業科3年野菜専攻の研究で、1999年頃から発生している「メロンつる割れ病（土壌伝染病）」を回避するために、接ぎ木苗の導入が必要になっていることから、地域の接ぎ木苗生産者の協力で講習会を実施して、生徒が作成した接ぎ木苗を使って温室メロン栽培に取り組んだ内容を発表しました。

今回、優秀ポスター賞に輝くとともに、多くの研究者に銚田二高農業科の研究を知っていただける貴重な機会になりました。



### 【日本土壤肥料学会関東大会のようす】

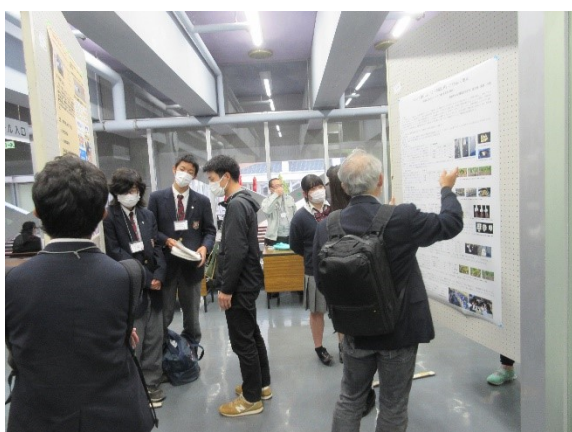
#### 1 ウェルカムボード



#### 2 銚田二高農業科のポスター発表



#### 3 高校生のポスター発表（研究者と交流）



#### 4 土壤肥料学会員のポスター発表

